

他院で重度の蓄膿症と診断され、松本医院を受診。

「娘の花粉症」匿名希望（お父様記述）

古川美歌 11歳

2017年6月10日

美歌の鼻の様子がおかしいのに気づいたのは4、5歳頃のことだったと思います。気が付いたら鼻詰まりを起こし特に花粉症の季節になると酷くなっていました。最初は近くの小児科医で診察を受け、その時に花粉症を疑われました。検査の結果スギ花粉症とのことでした。その頃から季節でなくとも慢性的に鼻詰まりがあり、特に花粉の季節になると酷くなっていました。

当初は耳鼻科に通うこともありましたが改善するわけでもありません。一時的に症状が軽くなるだけで薬を飲まなければまた元通りです。国民的病気とまで言われる花粉症、子供に無用な薬は使わせたくないと思い、よほどひどくならない限り耳鼻科には行きませんでした。今年の冬もまた鼻詰まりが酷くなったため今度は違った耳鼻科に行ってみたのですが、そこで言われたのが「蓄膿症です、これほど酷い人はなかなかいない。」ということでした。

以前の耳鼻科ではここまで言われたことがなかったのですが、今回それほどまでに酷いことが分かり、以前から知っていた貴医院しかないと考えた次第です。松本医院さんのことは松井二郎さんの出されている【1日2食の健康革命】のブログを見て知りました。難治性と言われる特に免疫に関わる病気治療に実績があるとのことでしたので子供のことを思い通院することを決めました。

現在症状は明らかに快方に向かっています。花粉の季節が過ぎたとはいえ以前なら常時詰まっていた鼻も軽くなり鼻をかむ回数はめっきり少なくなりました。毎日大量に使っていたポケットティッシュも今では1日に1つあれば十分なほどです。最初は薬を飲むたびに嫌がりケンカの状態でしたが、今では自分から進んで飲んでいきます。慣れもありますが自分でも事の大切さが分かってきたようです。

先生のおっしゃられるように全国に少しでも志を同じくする医院が増えて欲しいものです。今後ともよろしく願いいたします。簡単ですが経緯と現況まで。